

「令和7年度阿賀町総合計画審議会後意見シート」による審議会委員からの主なご意見等

No.	該当箇所	意見・質疑等	回答
1	事業効果、町内観光、宿泊施設への影響	「あがりーな」入場待ちの親子向けに近場のプランと、入場を断念した方に向けたプランを。 (例) スタンプラリー、町内の清水を巡る、きつねにちなんだ場所を巡るなど	現在作成中です。 秋の行楽シーズンに間に合うように周知していきます。
2	目標の設定	定量的な数値指標と定性的な数値指標を。単純な量だけで判断しないような仕組みを。	ご指摘いただいた通り、内閣府が作成した「地方創生事業実施のためのガイドライン」では、取組によって得られる成果・効果を客観的に示す「アウトカム指標（定量的）」と取組の活動量を示す「アウトプット指標（定性的）」の両方が設定されている状態が望ましいとされています。第3次阿賀町総合計画では、測定可能な数値指標を採用しており、定量的な数値指標と定性的な数値指標が混在しておりますが、次回見直しのタイミングで1つの施策につき両方の指標を設定する様検討します。 また、施策の評価につきましては、数値指標の増減だけではなく、進捗状況の評価理由も記載し、総括的な評価を実施します。
3	阿賀町観光拠点プロジェクト (阿賀の里拠点整備)	あがりーなのAIについて、すでに閉店しているお店など情報が古かったり、更新されていなかったりするので、正しい情報提供をお願いしたい。	一部内容のリニューアルを行っておりますが 令和7年度中にデータの入れ替えを実施します。